Pro-face
by Schneider Electric

Pro-face Connect GateManager 用 ユーザーマニュアル

はじめに

本書の情報には本書に記載された製品についての一般的説明および性能の技術特性が含まれます。本書は、お客様の特定の用途に対する本製品の適合性または信頼性を確約するために作成されたものではありません。お客様またはインテグレーター様は自らの責任で、関連する特定の用途またはその使用に関する本製品のリスク分析、評価、および試験を完全かつ適切に行なってください。(株) デジタルあるいは系列会社は、本書に記載された情報の誤用に対して一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本書の内容について改善点や修正点の提案がある場合、また何らかの誤りを発見した場合には、弊社までご連絡ください。

本製品を設置して使用する際には、関連する州、地域、地区の安全規定をすべて順守する必要があります。安全のため、また、記録されたシステムデータの適合性を確保するため、部品の修理は製造業者にお任せください。

装置を技術的な安全要件がある用途に使用する場合、関連する指示に従ってください。

(株) デジタルのハードウェア製品には必ず、(株) デジタル製のソフトウェアまたは承認されたソフトウェアをご使用ください。 この指示に従わない場合、人的損害、物的損害、また不適切な動作が生じる可能性があります。

この情報に従わない場合、人的損害や装置の損傷を招くおそれがあります。

Copyright (C) 2018.11 Digital Electronics Corporation. All Rights Reserved.

商標権などについて

本書に記載の会社名、商品名は、各社の商号、商標 (登録商標を含む) である場合があります。

本書の表示·記述の中では、これら権利に関する個別の表示は省略しております。

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、Internet Explorer、Windows Media、Excel、Visio、DirectX、Visual Basic、Visual C++、および Visual Studio は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Intel、Pentium、および Xeon は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

なお、上記の商号、商標で、本書での表記が正式な表記と異なるものは以下のとおりです。

本書での表記	正式な表記
Windows 10	Microsoft(R) Windows(R) 10 Operating System
Windows 8.1	Microsoft(R) Windows(R) 8.1 Operating System
Windows 8	Microsoft(R) Windows(R) 8 Operating System
Windows 7	Microsoft(R) Windows(R) 7 Operating System
Windows Vista	Microsoft(R) Windows Vista(R) Operating System
Windows Embedded 8.1	Microsoft(R) Windows(R) Embedded 8.1 Industry
Windows Embedded Standard 7	Microsoft(R) Windows(R) Embedded Standard 7 Runtime (WS7P)(ESD)
Internet Explorer	Microsoft(R) Internet Explorer(R)
Google Chrome	Google Chrome (TM) browser
Mozilla Firefox	Firefox (R)
Apple Safari	Safari (R)

マニュアル表記について

安全に関する注意表記

本書では、表示器および Pro-face Connect を正しく使用していただくために、注意事項に次のような絵表示を使用しています。ここで示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載しています。

その表示と意味は次のようになっています。

	この記号が「危険」または「警告」安全ラベルに追加されると、電気的な危険が存在し、指示に従わないと人身傷害の危険があることを示します。
	安全警告記号です。人的傷害の危険性があることを警告します。この記号の後に記載された安全に関する情報に従って、人的傷害や死亡の危険性を回避してください。

⚠ 危険
危険は、危険が生じる可能性のある状況を示します。回避しないと、死亡や重傷を招きます。

⚠ 警告
警告は、危険が生じる可能性のある状況を示します。回避しないと、死亡や重傷を招くおそれがあります。

⚠ 注意
注意は、危険が生じる可能性のある状況を示します。回避しないと、軽傷を招くおそれがあります。

注記
この表示は、指示に従わないと物的損害を負う可能性があることを示します。

説明のための表記

本書では説明の便宜のため、次のような絵表示や記号で表記します。

表記	内容
重 要	必ず守らなければならない注意事項や制限事項を記載しています。
MEMO	使用するに際して、ポイントとなる項目です。

用語について

本書では次のような用語や総称を使用して説明しています。

本書での表記	内容
画面作成&ロジックプログラムソフトウエア	「GP-Pro EX」または「BLUE」を指します。
表示器	GP-Pro EX または BLUE で作成した画面データを表示するための、(株) デジタル製のタッチパネル式表示器を指します。
接続機器	PLC など、表示器に接続する機器を指します。
Pro-face Connect GateManager (以後「GateManager」と呼びます。)	GateManager は、ユーザー管理や LinkManager のアクセスコントロールに使用され、LinkManager と SiteManager 間のルーターとして動作します。
Pro-face Connect SiteManager (以後「SiteManager」と呼びます。) Pro-face Connect SiteManager Embedded (以後「SiteManager Embedded」と呼びます。)	SiteManager Embedded は、表示器にインストールされるソフトウェアです。 SiteManager Embedded が実行されている表示器を SiteManager と呼びます。
Agent	SiteManager Embedded がネットワークとの通信を許可している表示器および外部接続機器の総称です。登録できるアクセス方法 (Agent) は、お持ちのライセンスによって異なります。
Pro-face Connect SiteManager Embedded Basic (以後「SiteManager Embedded Basic」と呼びます。)	SiteManager Embedded を使用するために必要なライセンスのひとつです。
Pro-face Connect SiteManager Embedded Extended (以後「SiteManager Embedded Extended」と呼びます。)	SiteManager Embedded を使用するために必要なライセンスのひとつです。
Pro-face Connect LinkManager (以後「LinkManager」と呼びます。)	LinkManager はパソコンにインストールするソフトウェアで、SiteManager および/または SiteManager の Agent へのリモートアクセスを可能にします。
Pro-face Connect LinkManager Mobile (以後「LinkManager Mobile」と呼びます。)	LinkManager Mobile は GateManager のサービスで、リモートアクセスを可能にします。

画面イメージについて

ご利用の環境によって、実際の画面と本書で使用している画面イメージが異なる場合があります。ご了承ください。

グローバルコードについて

Pro-face 製品すべてに全世界共通型式としてグローバルコードが設定されています。

製品型式とグローバルコードの対比は下記 URL を参照してください。

http://www.pro-face.com/trans/ja/manual/1003.html

お問い合わせ

本マニュアル、その他の参考文書などで解決できない場合は、弊社のホームページへアクセスしてみてください。

http://www.pro-face.com/trans/ja/manual/1001.html

電話番号および受付時間は、弊社ホームページでご確認ください。

http://www.pro-face.com/trans/ja/manual/1015.html

MEMO

- 最新のマニュアルは弊社ホームページにて配信しています。

目次

はじめに 2
商標権などについて 2
マニュアル表記について 3
お問い合わせ 5
目次 6
1. 概要 7
1.1. 事前に準備するもの 7
1.2. Pro-face Connect の概念 7
1.2.1. Pro-face Connect とは 7
1.3. 動作環境 9
1.4. 対応機種一覧 10
1.5. ライセンスとシステム構成 12
1.6. 制限事項 13
2. 基本設定と接続 14
2.1. 環境構築の流れ 14
2.2. SiteManager の環境構築 15
2.2.1. SiteManager からアクセスする GateManager の設定 15
2.3. GateManager の環境構築 21
2.3.1. 認証と GateManager へのログイン 21
2.3.2. LinkManager ユーザーアカウントの作成 22
2.3.3. LinkManager Mobile ユーザーアカウントの作成 25
2.3.4. SiteManager へのライセンス割り当て 28
2.4. LinkManager の環境構築 29
2.4.1. 認証と LinkManager のインストール 29
2.4.2. 表示器への接続 31
2.5. LinkManager Mobile の環境構築 33
2.5.1. LinkManager Mobile へのログインと接続 33
3. SiteManager Embedded Basic - Agent の設定 35
3.1. SiteManager での Agent の設定 35
3.2. Agent 用の接続ボタンを有効にする 37
3.2.1. Agent と接続ボタンの作成 37
3.2.2. LinkManager Mobile で VNC サーバーに接続する 39
3.3. LinkManager Mobile のカスタム接続ボタンと Agent を使用する 40
3.3.1. 設定例: 新規 Agent の作成 40
3.3.2. LinkManager Mobile で Agent に接続する 41
4. SiteManager Embedded Extended – 外部デバイスにアクセスする 42
4.1. SiteManager Embedded Basic から SiteManager Embedded Extended にアップグレードする 42
4.2. 外部デバイス用の Agent を定義する 43

1. 概要

1.1. 事前に準備するもの

以下は、本書を読み進めていただくために事前に準備しておいてください。

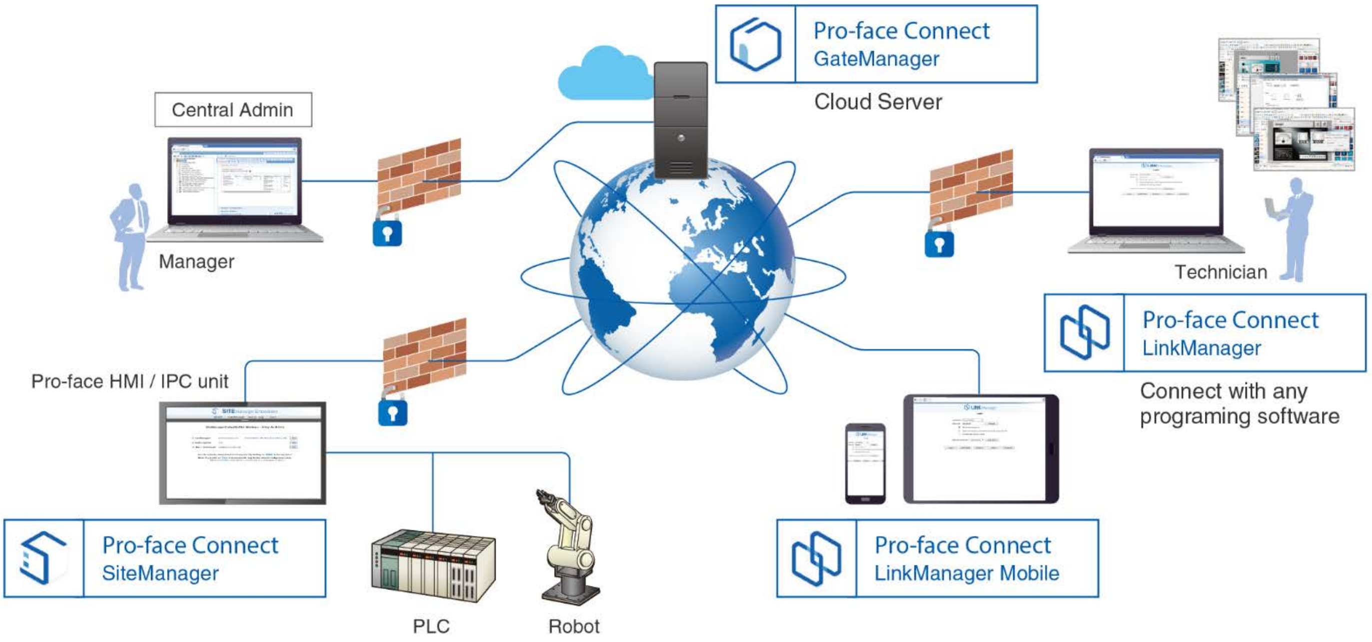
- Windows 対応のパソコンまたはノートパソコンにプログラムをインストールする管理者権限。
- HTTPS 経由でインターネットへのアクセスが可能なパソコン。ファイアウォールがインストールされている企業および個人のパソコンのどちらも該当します。
- SiteManager Embedded のライセンス。
- 電子メールで受け取った GateManager Web Portal へのリンク付きの GateManager Administrator の証明書。

1.2. Pro-face Connect の概念

1.2.1.Pro-face Connect とは

遠隔地に設置されている表示器の画面をパソコンやスマートデバイス上で表示/操作するには､外部からの不正なアクセスを防ぐことが可能なシステムの構築が必要です。

Pro-face Connect がルーターの役割を果たすため、インターネットへの接続環境があればシステムが構築できます。



Pro-face Connect は､現場の表示器 (SiteManager) とオフィスのパソコンやスマートデバイス (LinkManager) を安全に繋ぐためのサーバー (GateManager) で構成されています。

- GateManager
  現場の表示器 (SiteManager) とオフィスのパソコンやスマートデバイス (LinkManager) を安全に繋ぐためのサーバーです。GateManager は SiteManager と LinkManager のネットワークへのアクセス状況が確認できます。ネットワークへのアクセスを許可する SiteManager および LinkManager の登録は GateManager Administrator が行います。

- SiteManager
  SiteManager Embedded が起動している表示器を SiteManager と呼びます。ネットワークにアクセスするための設定は、SiteManager Embedded と言うソフトウェアで行います。

- LinkManager
  パソコンにインストールするソフトウェアです。SiteManager および/または SiteManager の Agent へのリモートアクセスを可能にします。ネットワークへアクセスするための設定は GateManager で行います。リモートでの監視や操作を行うために、データ収集ソフトウェアや遠隔監視ソフトウェアを LinkManager として使用できます。
  ご購入されたパッケージによって構成が異なります。パッケージに同梱されているライセンスを参照してください。

▲ 警告
機器の損傷 ● メンテナンスを行う前に、現場からの了承を電話にて確認するようにしてください。 ● 表示器本体のアップデートをする前に、インターネットと電圧が安定した環境であることを確認してください。 ● テザリング機能を使ったモバイル回線 (3G など) での本体アップデートは行わないでください。 上記の指示に従わないと、死亡、重傷、または物的損害を負う可能性があります。

1.3. 動作環境

次の表は Pro-face Connect のシステム要件です。

重 要

- LinkManager の更新が通知された場合は、更新された LinkManager を必ずインストールしてください。
  システムが正しく動作しない場合があります。

SiteManager 用機種	Pro-face Connect に対応している表示器の機種は、対応機種一覧を参照してください。
GateManager/LinkManager 用パソコン	Windows が正常に動作する PC/AT 互換機
OS	• GateManager / LinkManager Windows 10/Windows 8/Windows 8.1/Windows 7/Windows Vista 32/64 bit 版の全エディション • SiteManager 表示器にインストールされている OS については、表示器のハードウェアマニュアルを参照してください。
OS 以外のプログラム	• ブラウザー Internet Explorer 9 以上、Google Chrome、Apple Safari、Mozilla Firefox
ネットワーク設定	• ポート/プロトコル SiteManager は次のいずれかのポートまたはプロトコルを使ってすべての通信を行います。次のいずれかが使える環境でご使用ください。 ポート 11444 ポート 443 (HTTPS/TLS) ポート 80 (HTTP 経由 TLS) Web プロキシー経由 TLS 詳細は「Pro-face Connect LinkManager 用 トラブル解決ガイド」の「LinkManager 接続方法」を参照してください。

サポートしている機能およびドライバ

Pro-face Connect が対応しているソフトウェアや機能、ドライバの情報は下記 URL を参照してください。
http://www.pro-face.com/trans/ja/manual/1049.html

1.4. 対応機種一覧

SiteManager として登録できる表示器は次の通りです。

GP4000 シリーズ

SP5000 シリーズ

IPC シリーズ

MEMO

- ご使用の画面作成ソフトウェアにより、使える機種が異なります。
  詳細はご使用の画面作成ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

GP4000 シリーズ

シリーズ名	機種	型式
GP-4200	GP-4201T	PFXGP4201TAD
	GP-4203T	PFXGP4203TAD
GP-4300	GP-4301T	PFXGP4301TAD
		PFXGP4301TADC
		PFXGP4301TADR
	GP-4301TW	PFXGP4301TADW
		PFXGP4301TADWC
	GP-4303T	PFXGP4303TAD
	GP-4311HT	PFXGP4311HTAD
		PFXGP4311HTADER
		PFXGP4311HTADERK
		PFXGP4311HTADEYK
		PFXGP4311HTADEGK
GP-4400	GP-4401T	PFXGP4401TAD
		PFXGP4401TADR
	GP-4401WW	PFXGP4401WADW
GP-4500	GP-4501T(Analog Touch Panel)	PFXGP4501TAD
		PFXGP4501TADC
		PFXGP4501TADR
		PFXGP4501TAA
		PFXGP4501TAAC
	GP-4501T(Matrix Touch Panel)	PFXGP4501TMD
		PFXGP4501TMA
	GP-4501TW	PFXGP4501TADW
	GP-4503T	PFXGP4503TAD
	GP-4521T	PFXGP4521TAA
GP-4600	GP-4601T(Analog Touch Panel)	PFXGP4601TAD
		PFXGP4601TADC
		PFXGP4601TADR
		PFXGP4601TAA
		PFXGP4601TAAC
	GP-4601T(Matrix Touch Panel)	PFXGP4601TMD
		PFXGP4601TMA
	GP-4603T	PFXGP4603TAD
	GP-4621T	PFXGP4621TAA
		PFXGP4621TAD

SP5000 シリーズ

	機種	型式
スタンダードボックス	SP-5B00	PFXSP5B00
パワーボックス	SP-5B10	PFXSP5B10
エクストリームボックス	SP-5B90	PFXSP5B90
オープンボックス	SP-5B40	PFXSP5B40
	SP-5B41	PFXSP5B41

MEMO

- 取り付けられるディスプレイモジュールについては、「ハードウェアマニュアル」を参照してください。

IPC シリーズ

機種	型式
PS-5000、PS/PE4000	PS5000 シリーズ、PS4000 シリーズ、PE4000 シリーズ (型式の詳細については、各表示器の「ハードウェアマニュアル」を参照してください。)

1.5. ライセンスとシステム構成

ライセンスの形態は大きく SiteManager Embedded Basic と SiteManager Embedded Extended の 2 種類があります。

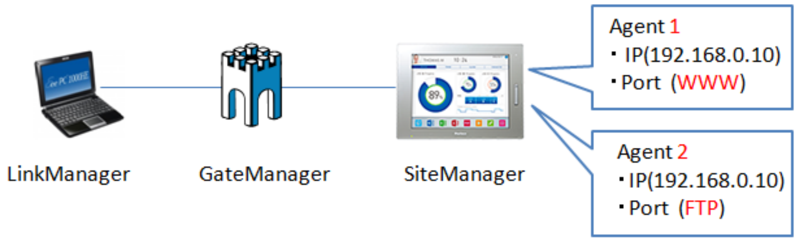
ご購入いただくライセンスの組み合わせにより、構築可能なシステム構成が変わります。ライセンスの詳細については、http://www.pro-face.com/trans/ja/manual/1061.html を参照してください。

SiteManager Embedded Basic

表示器本体のみにアクセスでき、その表示器に対して Agent (アクセス方法) を 2 つまで登録できるライセンスです。

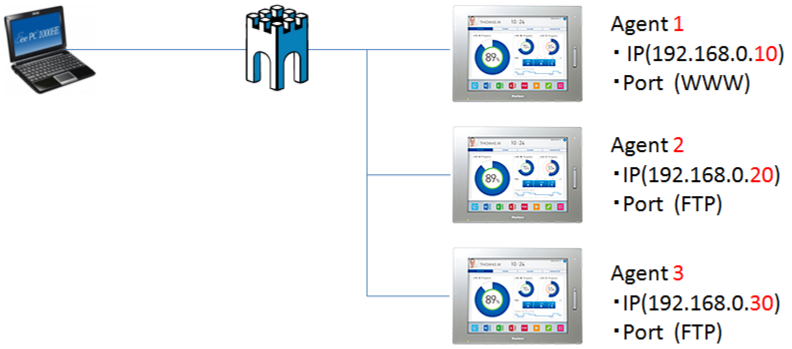
表示器に複数のイーサネットインターフェイスがある場合、Agent はインターフェイスごとに設定できます。

イーサネットインターフェイスが 1 つの場合でポートが異なる場合、Agent はポートごとに設定できます。



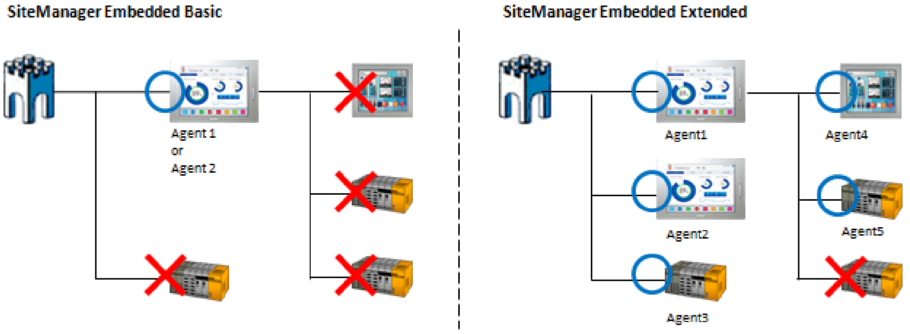
SiteManager Embedded Extended

表示器と同じネットワークに存在する外部の IP 機器 (PLC、IPC、サーバー、Web カメラなど) へのアクセスと Agent の登録ができます。IP アドレスの異なる複数の機器を接続できるため、Agent も複数登録することができます。



MEMO

- 初期設定ではすべてのポートを開放しています。お使いのアプリケーションに応じたポートに変更してください。設定の変更は SiteManager GUI (**Device Agents** にある **Edit**)で行います。
- Agent を登録していない機器は Pro-face Connect ではアクセスできません。



1.6. 制限事項

各種制限事項は、弊社ホームページをご確認ください。

http://www.pro-face.com/trans/ja/manual/1072.html

2. 基本設定と接続

2.1. 環境構築の流れ

Pro-face Connect のライセンスをご購入後、下記の流れで環境を構築します。

SiteManager の環境構築 *1	GateManager の環境構築 *2	LinkManager の環境構築 *3	LinkManager Mobile の環境構築 *4
SiteManager からアクセスする GateManager の設定	認証と GateManager へのログイン	認証と LinkManager のインストール	LinkManager Mobile へのログインと接続
	LinkManager ユーザーアカウントの作成	表示器への接続	
	LinkManager Mobile ユーザーアカウントの作成		
	SiteManager へのライセンス割り当て		

*1 SiteManager ユーザーまたは GateManager 管理者のタスク

*2 GateManager 管理者のタスク

*3 LinkManager ユーザーのタスク

*4 LinkManager Mobile ユーザーのタスク

MEMO

- Windows Embedded 搭載機種を SiteManager としてご使用の方へ
  Windows Embedded 搭載機種をご使用の場合、OS がインストールされているドライブにライトフィルタ（書き込み禁止）を設定することができます。ライトフィルタの設定が有効になっている場合は、インストールする前にライトフィルタ設定を無効にしてください。
  Windows XP Embedded の場合、EWFSettingTool.exe を無効にしてください。Windows Embedded Standard 7、Windows Embedded Standard 2009 の場合、EWF Manager を無効にしてください。
  詳細は各機種のユーザーズマニュアル/リファレンスマニュアルを参照してください。

2.2. SiteManager の環境構築

2.2.1.SiteManager からアクセスする GateManager の設定

SiteManager を設定する方法はご使用の表示器により異なります。

表示器	設定方法
SP5000 シリーズオープンボックス、IPC シリーズ以外の機種と GP-Pro EX	オフラインモードで設定
SP5000 シリーズオープンボックス、IPC シリーズ以外の機種と BLUE	Hardware Configuration で設定
SP5000 シリーズオープンボックス、IPC シリーズ	ブラウザーで設定

オフラインモードで設定

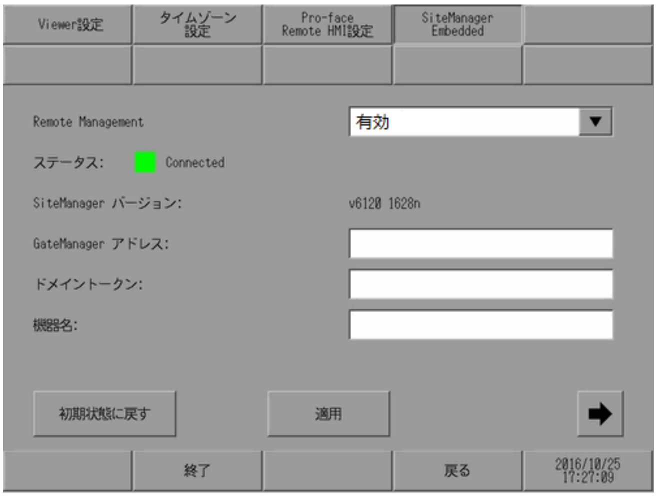
SiteManager の設定を表示器のオフラインモードで行う機種の設定手順です。

MEMO

- オフラインモードへの入り方や各設定項目の詳細は「GP-Pro EX リファレンスマニュアル」を参照してください。マニュアルは (株) デジタルサポート専用サイト (http://www.pro-face.com/trans/ja/manual/1001.html) からダウンロードできます。

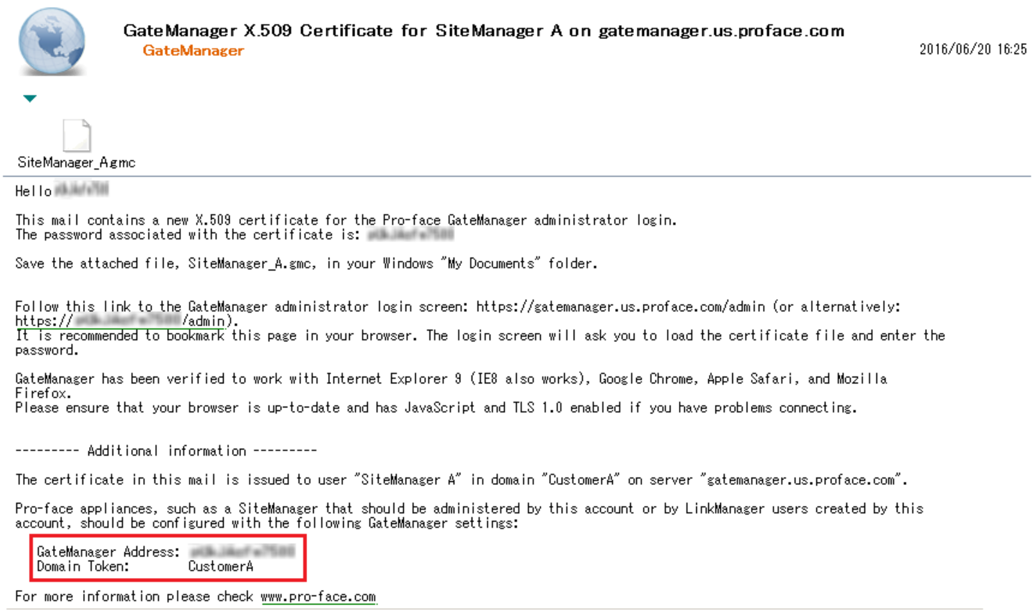
1. オフラインモードに移動しメニューの 本体設定 – 遠隔監視設定をタッチし **SiteManager Embedded** を選択します。
   SiteManager Embedded が表示されない場合は、GP-Pro EX Ver.4.07.100 以上のシステムを表示器に転送してください。

2. **Remote Management** が **有効** になっている事を確認します。アクセスする GateManager の IP アドレスおよび接続するためのパスワード (トークン)、SiteManager の名称を入力します。設定した SiteManager の名称は GateManager 上に表示されます。



重 要

- この画面で必要な情報は、GateManager から受信した GateManager X.509 の証明書付き電子メールの下部にあります。



GateManager X.509 Certificate for SiteManager A on gatemanager.us.proface.com
GateManager
2016/06/20 16:25

SiteManager_A.gmc

Hello [illegible]

This mail contains a new X.509 certificate for the Pro-face GateManager administrator login.
The password associated with the certificate is: [illegible]

Save the attached file, SiteManager_A.gmc, in your Windows "My Documents" folder.

Follow this link to the GateManager administrator login screen: https://gatemanager.us.proface.com/admin (or alternatively: https://[illegible]/admin).
It is recommended to bookmark this page in your browser. The login screen will ask you to load the certificate file and enter the password.

GateManager has been verified to work with Internet Explorer 9 (IE8 also works), Google Chrome, Apple Safari, and Mozilla Firefox.
Please ensure that your browser is up-to-date and has JavaScript and TLS 1.0 enabled if you have problems connecting.

--------- Additional information ---------

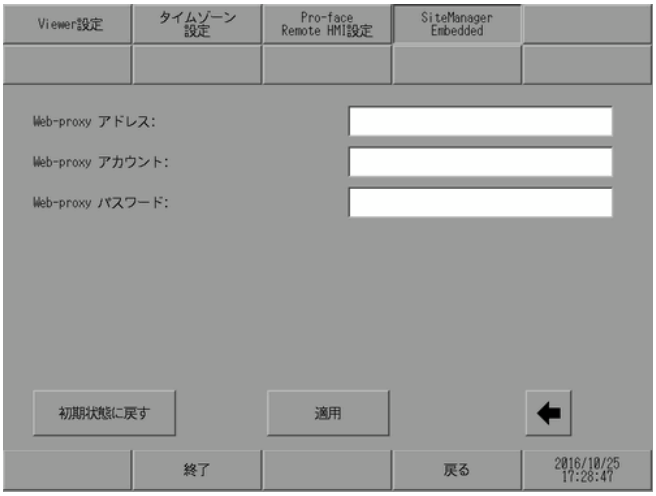
The certificate in this mail is issued to user "SiteManager A" in domain "CustomerA" on server "gatemanager.us.proface.com".

Pro-face appliances, such as a SiteManager that should be administered by this account or by LinkManager users created by this account, should be configured with the following GateManager settings:

GateManager Address: [illegible]
Domain Token: CustomerA

For more information please check www.pro-face.com

3. 必要に応じてネットワーク管理者にプロキシサーバーの IP アドレスを確認し、**Web-proxy アドレス**に入力してください。



4. **適用** をクリックします。GateManager への接続状況は前画面の**ステータス** で確認できます。オフラインモードを終了するには **終了** をタッチします。

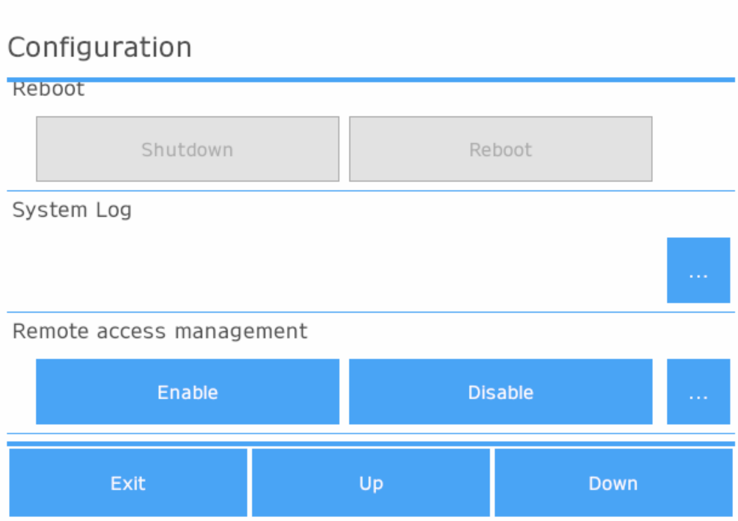
Hardware Configuration で設定

SiteManager の設定を表示器の Hardware Configuration で行う機種の設定手順です。

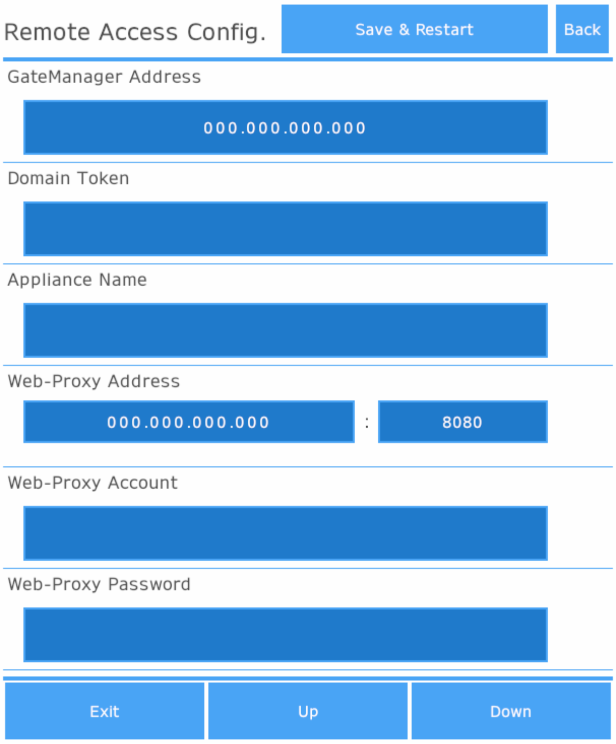
MEMO

- Hardware Configuration の設定をする前に、BLUE 側の Pro-face Connect の設定を有効にしておいてください。Hardware Configuration への入り方や各設定項目の詳細は「BLUE ユーザーマニュアル」を参照してください。

1. **Hardware Configuration** に移動し **Remote access management** メニューの [⋯] をタッチします。**Remote access management** メニューが表示されない場合は、ProductVersion 2.4.0 以上のシステムを表示器に転送してください。

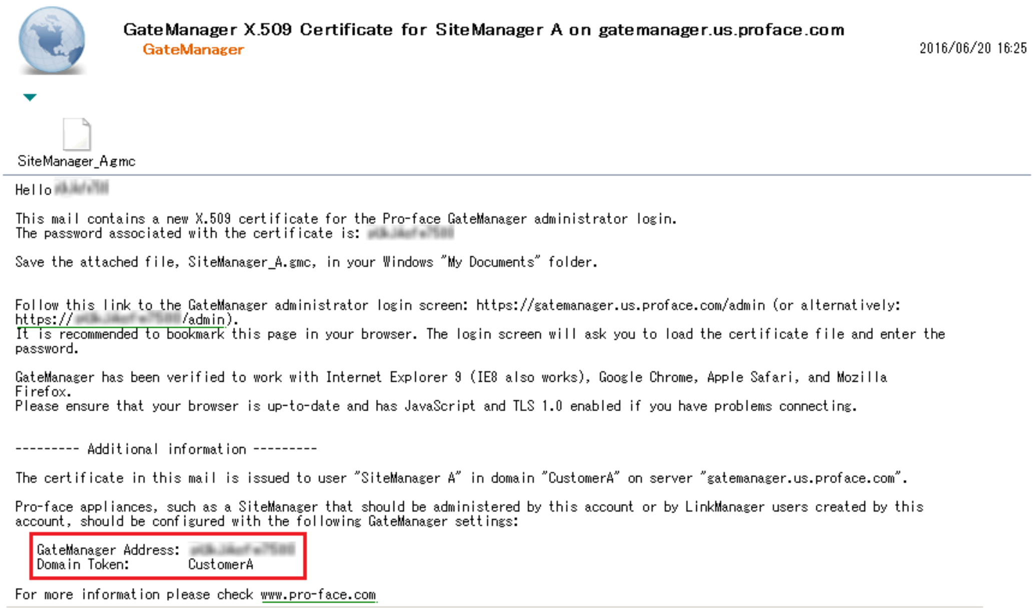


2. アクセスする GateManager の IP アドレス (GateManager Address) および接続するためのパスワード (Domain Token)、SiteManager の名称 (Application Name) を入力します。設定した SiteManager の名称は GateManager 上に表示されます。



重 要

- この画面で必要な情報は、GateManager から受信した GateManager X.509 の証明書付き電子メールの下部にあります。



GateManager X.509 Certificate for SiteManager A on gatemanager.us.proface.com
GateManager
2016/06/20 16:25

SiteManager_A.gmc

Hello [illegible]

This mail contains a new X.509 certificate for the Pro-face GateManager administrator login.
The password associated with the certificate is: [illegible]

Save the attached file, SiteManager_A.gmc, in your Windows "My Documents" folder.

Follow this link to the GateManager administrator login screen: https://gatemanager.us.proface.com/admin (or alternatively: https://[illegible]/admin).
It is recommended to bookmark this page in your browser. The login screen will ask you to load the certificate file and enter the password.

GateManager has been verified to work with Internet Explorer 9 (IE8 also works), Google Chrome, Apple Safari, and Mozilla Firefox.
Please ensure that your browser is up-to-date and has JavaScript and TLS 1.0 enabled if you have problems connecting.

--------- Additional information ---------

The certificate in this mail is issued to user "SiteManager A" in domain "CustomerA" on server "gatemanager.us.proface.com".

Pro-face appliances, such as a SiteManager that should be administered by this account or by LinkManager users created by this account, should be configured with the following GateManager settings:

GateManager Address: [illegible]
Domain Token: CustomerA

For more information please check www.pro-face.com

3. 必要に応じてネットワーク管理者にプロキシサーバーの IP アドレスを確認し、**Web-proxy Address** に入力してください。

4. **Save & Restart** をタッチしてシステムを再起動します。

5. Hardware Configuration に移動し **Remote access management** メニューの **Enable** をタッチします。

MEMO

- 表示器を再起動した場合は、**Remote access management** メニューの **Enable** を再度タッチする必要があります。

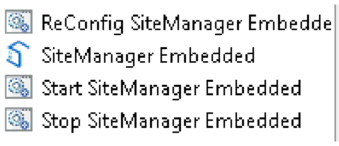
ブラウザーで設定

SiteManager の設定をブラウザーで行う機種の設定手順です。

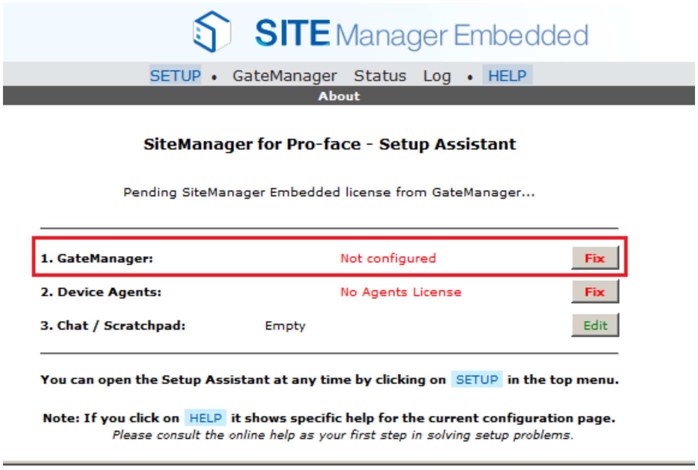
MEMO

- SiteManager Embedded がプリインストールされていない SP5000 シリーズオープンボックス 、IPC シリーズをお使いの場合、弊社サポート専用サイトから最新版のアップデートモジュールをダウンロードし、インストールしてください。
http://www.pro-face.com/trans/ja/manual/1001.html

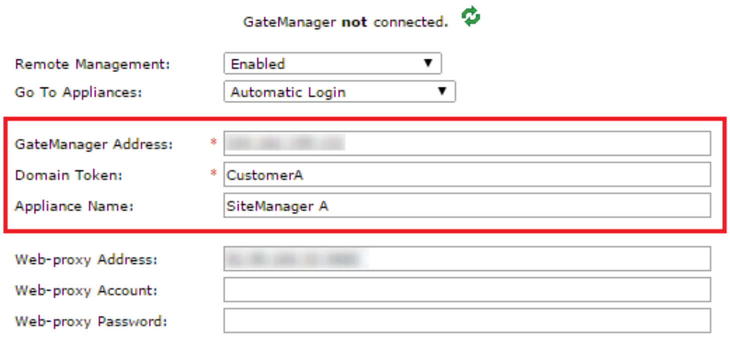
1. ライトフィルタの設定を無効にし、スタートメニューの**すべてのプログラム**、**Pro-face**、**SiteManager Embedded**、**Start SiteManager Embedded** をクリックします。SiteManager Embedded の設定を始めます。



2. 引き続き、SiteManager Embedded を起動します。SiteManager Embedded の Web サイトの **GateManager** から **Fix** ボタンをクリックします。

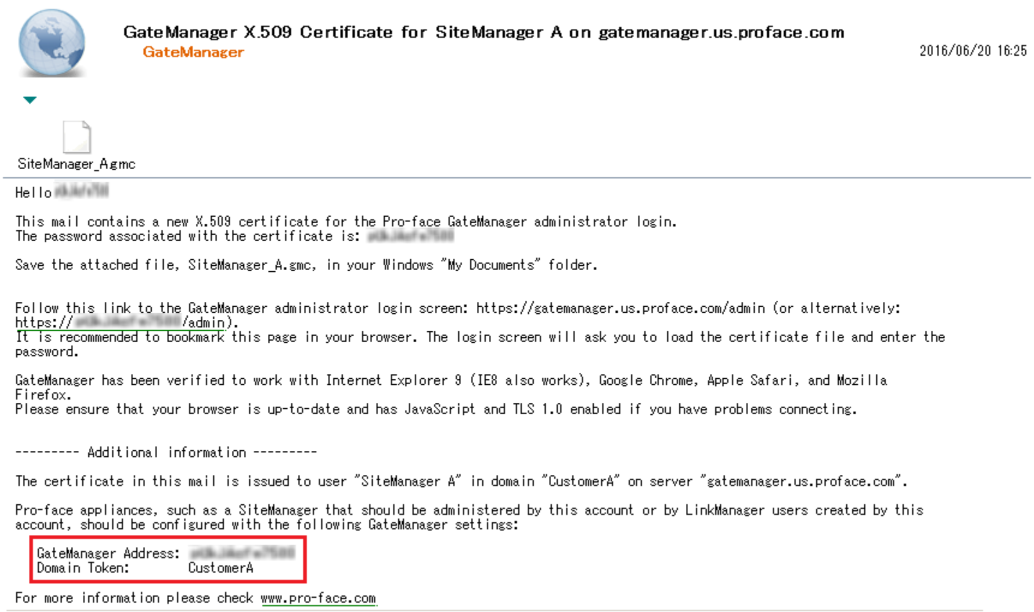


3. アクセスする GateManager の IP アドレスおよび接続するためのパスワード(トークン)、SiteManager の名称を入力します。設定した SiteManager の名称は GateManager 上に表示されます。



重 要

- この画面で必要な情報は、GateManager から受信した GateManager X.509 の証明書付き電子メールの下部にあります。


GateManager X.509 Certificate for SiteManager A on gatemanager.us.proface.com
GateManager
2016/06/20 16:25

SiteManager_A.gmc

Hello [redacted]

This mail contains a new X.509 certificate for the Pro-face GateManager administrator login.
The password associated with the certificate is: [redacted]

Save the attached file, SiteManager_A.gmc, in your Windows "My Documents" folder.

Follow this link to the GateManager administrator login screen: https://gatemanager.us.proface.com/admin (or alternatively: https://[redacted]/admin).
It is recommended to bookmark this page in your browser. The login screen will ask you to load the certificate file and enter the password.

GateManager has been verified to work with Internet Explorer 9 (IE8 also works), Google Chrome, Apple Safari, and Mozilla Firefox.
Please ensure that your browser is up-to-date and has JavaScript and TLS 1.0 enabled if you have problems connecting.

--------- Additional information ---------

The certificate in this mail is issued to user "SiteManager A" in domain "CustomerA" on server "gatemanager.us.proface.com".

Pro-face appliances, such as a SiteManager that should be administered by this account or by LinkManager users created by this account, should be configured with the following GateManager settings:

GateManager Address: [redacted]
Domain Token: CustomerA

For more information please check www.pro-face.com

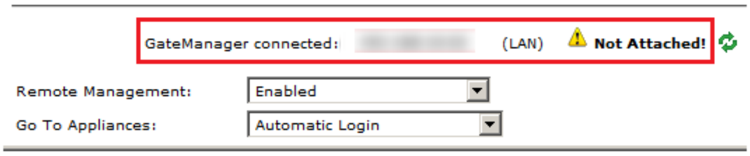
4. 必要に応じてネットワーク管理者にプロキシサーバーの IP アドレスを確認し、Web-proxy Address に入力してください。

5. **Save** と **Connect** をクリックします。GateManager への接続状況を確認するには、**Refresh** アイコン をクリックしてください。

MEMO

- GateManager への接続は、GateManager 管理者 がアクセスを許可した場合に可能です。

6. しばらくするとステータスが次のとおり変わります。



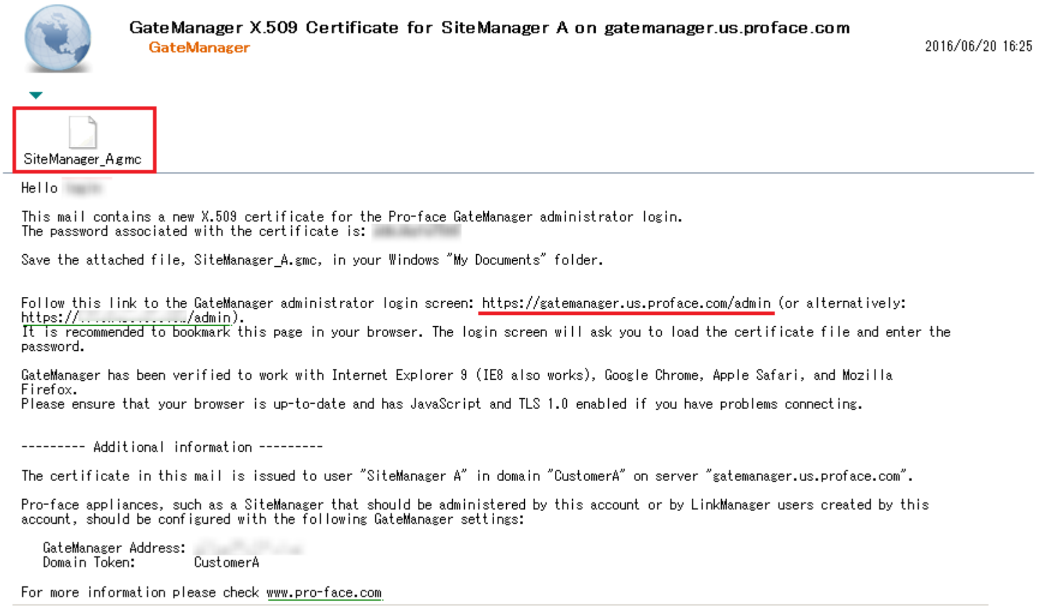
SiteManager Embedded の設定が完了し表示器の準備が整いました。表示器がネットワークにつながりインターネットへアクセスすると、SiteManager Embedded が自動的に GateManager に接続します。

2.3. GateManager の環境構築

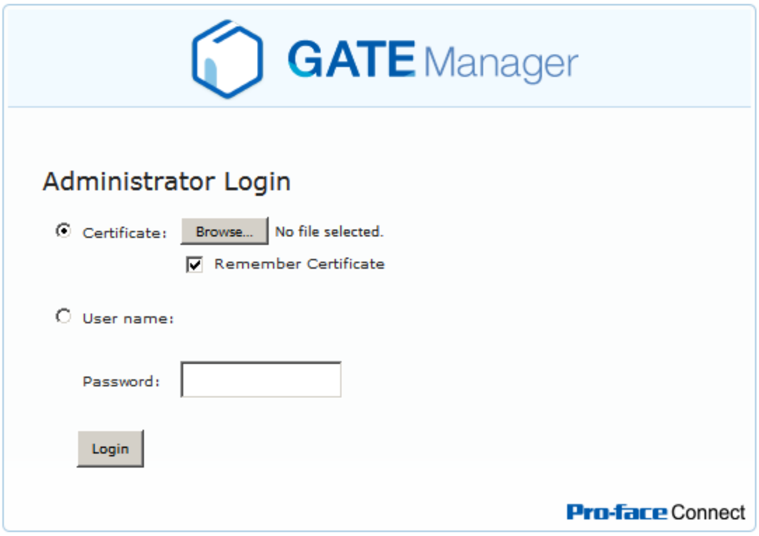
GateManager にログインして、LinkManager のアカウントの作成と SiteManager へのライセンス割り当てを行います。

2.3.1.認証と GateManager へのログイン

1. GateManager から受信した GateManager の証明書付き電子メールに添付されたファイルをご使用のハードディスクに保存します。



2. 電子メール内のリンクをクリックします。(DNS 名または IP アドレスの 2 つのリンクがある場合、どちらも使用できます。） GateManager のログイン画面が開きます。

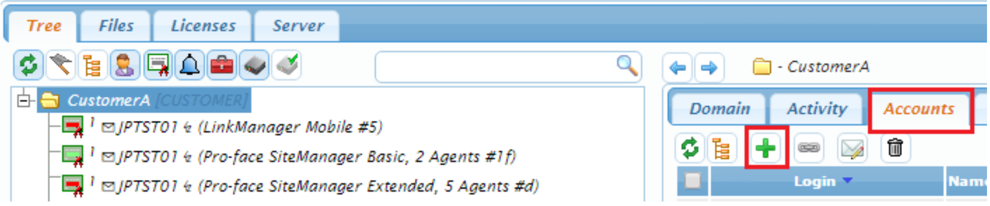


3. 保存した証明書を選択し、電子メールで提供されたパスワードを入力します。

2.3.2.LinkManager ユーザーアカウントの作成

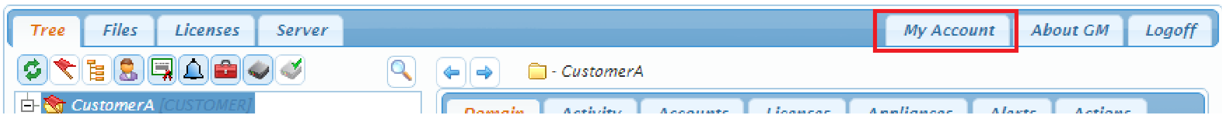
LinkManager がスマートデバイスの場合は LinkManager ユーザーアカウントの作成を参照の上、設定してください。

1. ログイン後 **Accounts** タブをクリックし、「+」アイコンを選択して新規アカウントを作成します。

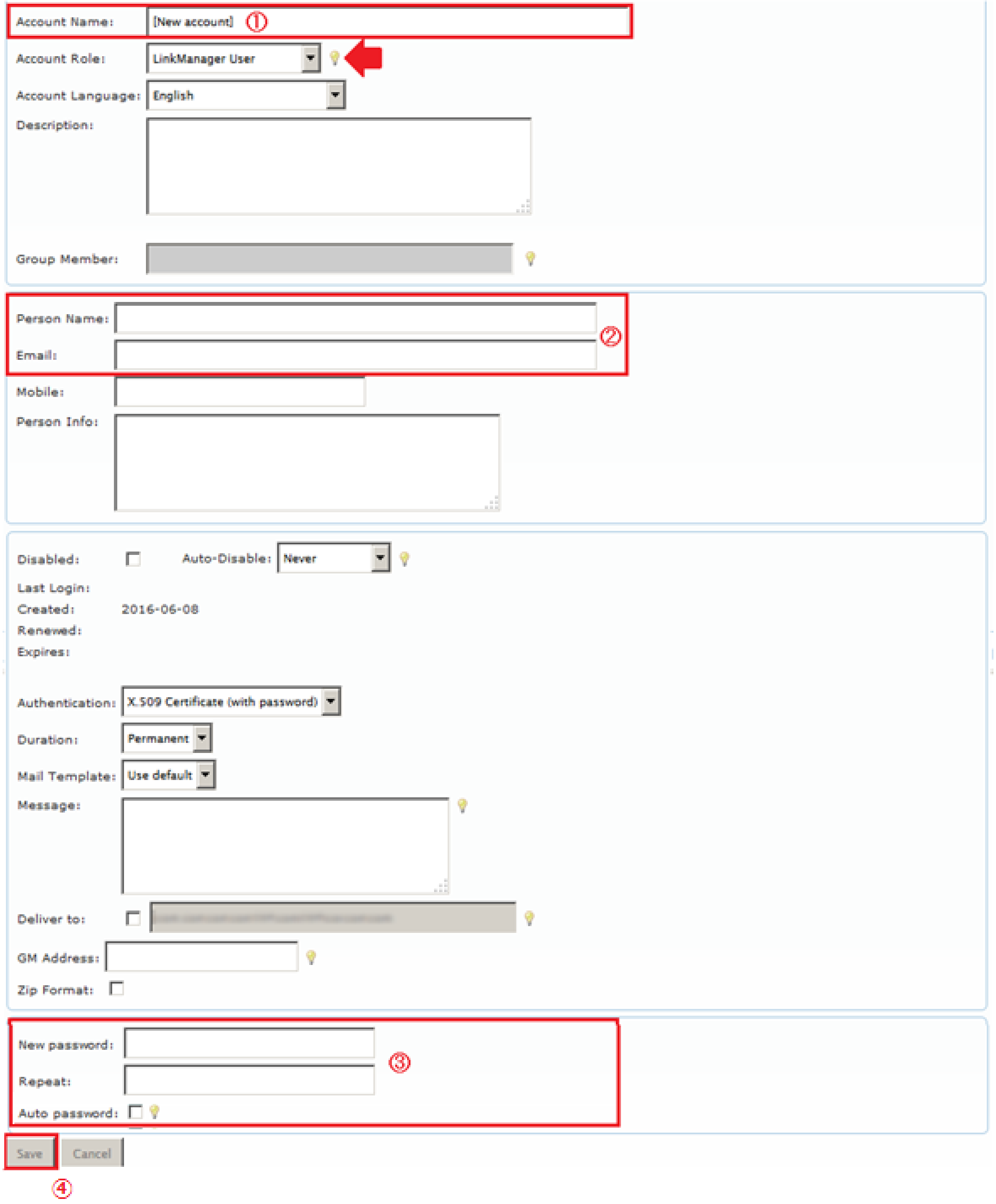


MEMO

- My Account 内の Personal Account Settings で Show startup Wizard on login が有効に設定されている場合は、GateManager にログインすると自動的に Startup Wizard が起動します。Wizard に従って設定を進められます。



2.　次の情報を入力します。



1: Account Name
ここで設定した名前は LinkManager の証明書のファイル名（.lmc）になります。
2: Person Name、Email
アカウントを作成する対象の人の名前と使う電子メールのアドレスを入力します。
3: New password/Auto password
アカウントを作成する人に提供するパスワードです。 管理者と LinkManager アカウント用：数字、大文字および小文字を含む 12 文字のパスワード LinkManager Mobile アカウント用：小文字の後に数字が続く 10 文字のパスワード **New password** ではオリジナルのパスワードが作成できます。パスワードはメールや口頭などで配布してください。 **Auto password** ではランダムなパスワードが作成されます。パスワードは GateManager からメールで自動的に配信されます。
4: Save
Save ボタンをクリックすると LinkManager の証明書が付いた電子メールが自動的に GateManager から送信されます。

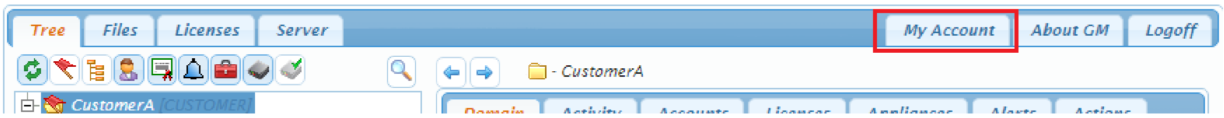
2.3.3.LinkManager Mobile ユーザーアカウントの作成

このアカウントを作成するための手順は、LinkManager ユーザーアカウントを作成する手順と同じです。

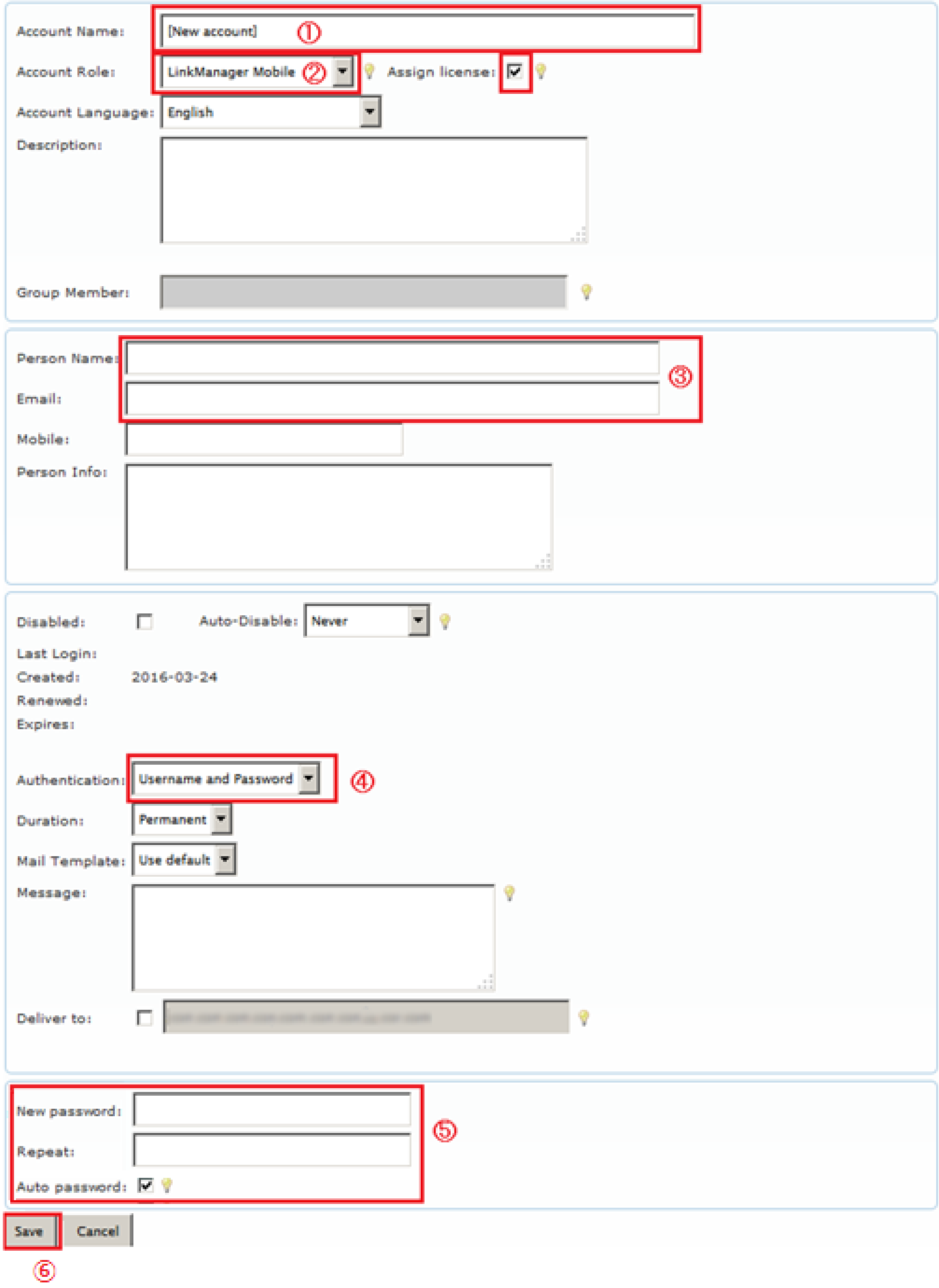
1. GateManager Portal にログインし、**Accounts** タブから「+」アイコンを選択して新規アカウントを作成します。

MEMO

- My Account 内の Personal Account Settings で Show startup Wizard on login が有効に設定されている場合は、GateManager にログインすると自動的に Startup Wizard が起動します。Wizard に従って設定を進められます。



2. 次の情報を入力します。

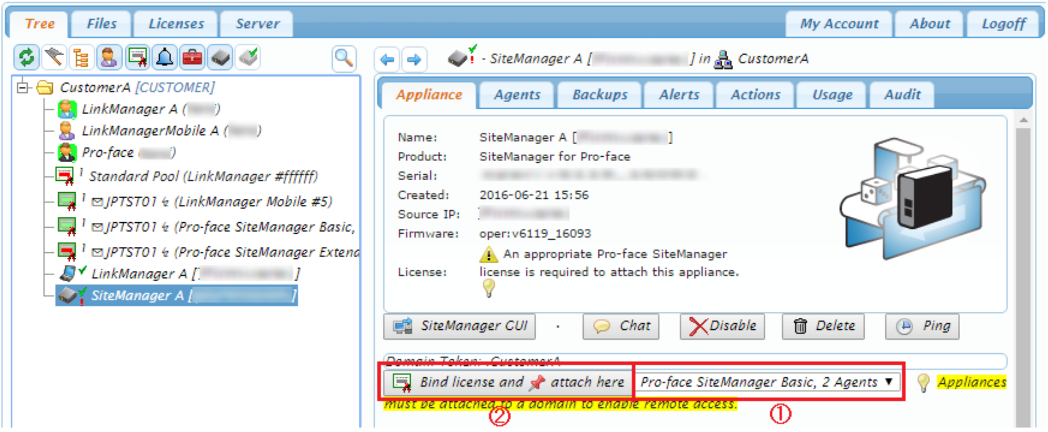


1: Account Name
ここで設定した名前はアカウントのログイン ID になります。
2: Account Role
LinkManager Mobile を選択すると、**Assign License** のチェックボックスが表示されます。このチェックボックスを選択すると、LinkManager Mobile ライセンスを割り当てこのアカウントによるリモートアクセスを許可します。(チェックボックスを選択しない場合もアカウントは有効ですがリモートアクセスはできません。)
3: Person Name、Email
アカウントを作成する対象の人の名前と使う電子メールのアドレスを入力します。
4: Authentication
ログインにはユーザー名とパスワードを使います。
5: New password/Auto password
アカウントを作成する人に提供するパスワードです。 管理者と LinkManager アカウント用：数字、大文字および小文字を含む 12 文字のパスワード LinkManager Mobile アカウント用：小文字の後に数字が続く 10 文字のパスワード **New password** ではオリジナルのパスワードが作成できます。パスワードはメールや口頭などで配布してください。 **Auto password** ではランダムなパスワードが作成されます。パスワードは GateManager からメールで自動的に配信されます。
6: Save
Save ボタンをクリックすると LinkManager Mobile のログインページのリンクが付いた電子メールが自動的に GateManager から送信されます。

2.3.4.SiteManager へのライセンス割り当て

登録した SiteManager には Pro-face Connect を利用するためのライセンスの割り当てが必要です。

1. SiteManager が SiteManager からアクセスする GateManager の設定にしたがって正しく設定されている場合、SiteManager は Tree view に表示されます。カーソルを Tree view の SiteManager に移動し **Bind license and attach here** をタッチします。



MEMO

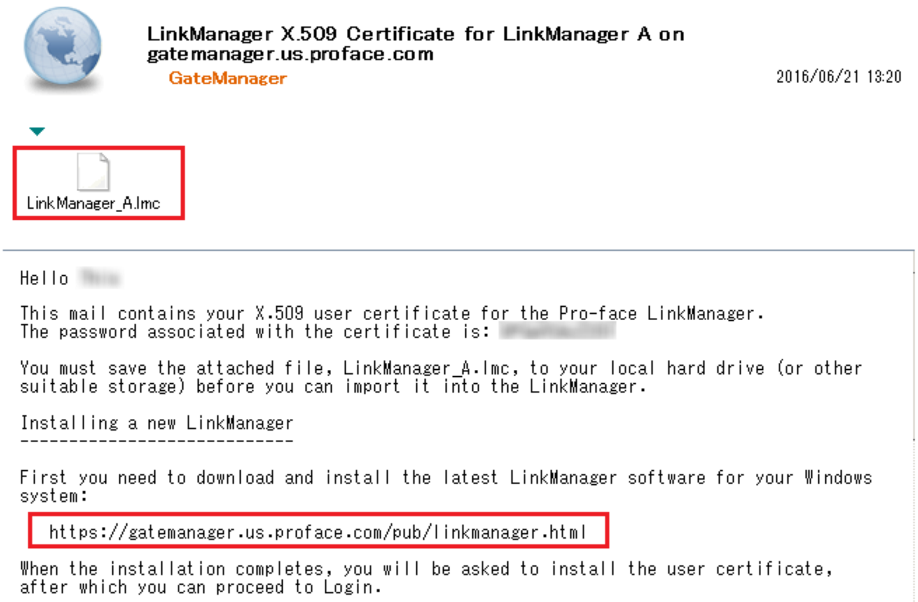
- ライセンスを割り当てたい SiteManager が Tree view に表示されない場合は、SiteManager 側の Web-proxy Address が設定されているかをご確認ください。

2.4. LinkManager の環境構築

ネットワークに接続させるオフィスのパソコンやスマートデバイスの設定を行います。

2.4.1.認証と LinkManager のインストール

1. 前の手順で、GateManager から LinkManager の証明書 (.lmc) が添付された電子メールが送信されます。添付された証明書をご使用のパソコンに保存します。


LinkManager X.509 Certificate for LinkManager A on gatemanager.us.proface.com
GateManager 2016/06/21 13:20

LinkManager_A.lmc

Hello

This mail contains your X.509 user certificate for the Pro-face LinkManager.
The password associated with the certificate is:

You must save the attached file, LinkManager_A.lmc, to your local hard drive (or other suitable storage) before you can import it into the LinkManager.

Installing a new LinkManager

First you need to download and install the latest LinkManager software for your Windows system:

https://gatemanager.us.proface.com/pub/linkmanager.html

When the installation completes, you will be asked to install the user certificate, after which you can proceed to Login.

2. 受信した電子メールにあるリンクをクリックし、LinkManager をダウンロードおよびインストールします。

重 要

- **LinkManager をインストールするにはパソコンの管理者権限が必要です。**

MEMO

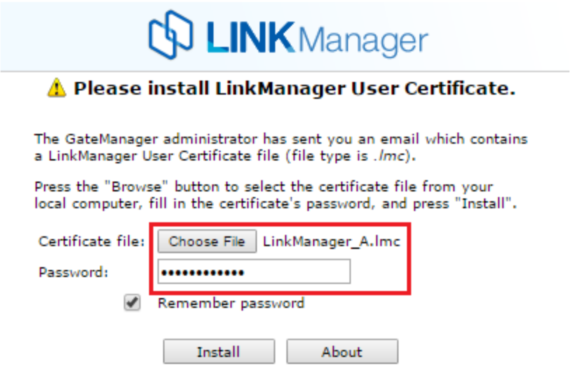
- ホスト OS が Windows 7 で、CPU が仮想化対応であれば、LinkManager を VMWare 社の仮想マシンにインストールすることもできます。仮想マシンが「NAT」を設定している場合、プログラムソフトウェアを仮想マシン上で走らせ、ホスト OS にインストールされた LinkManager 経由でデバイスにアクセスすることができます。

3. インストールウィザードの **Finish** をクリックすると、Windows システムトレイにある LinkManager のアイコン が緑に変わり、Web ブラウザーが開き、LinkManager Web GUI が表示されます。

MEMO

- LinkManager のアイコン が赤のまま変わらない場合は、パソコンの何らかの原因で LinkManager が正常に起動できない可能性があります。トラブルシューティングについては、弊社サポート専用サイトを参照してください。
http://www.pro-face.com/trans/ja/manual/1001.html

4. **Choose File** をクリックし保存した証明書を選択し、電子メールで提供されたパスワードを入力します。



5. **Install** をクリックするとログインへ進みます。上記のパスワードを入力し **Login** をクリックします。

MEMO

- ログインできない場合は、ネットワーク管理者にプロキシサーバーの IP アドレスを確認し、**Add proxy** から Web-proxy の設定を行ってください。

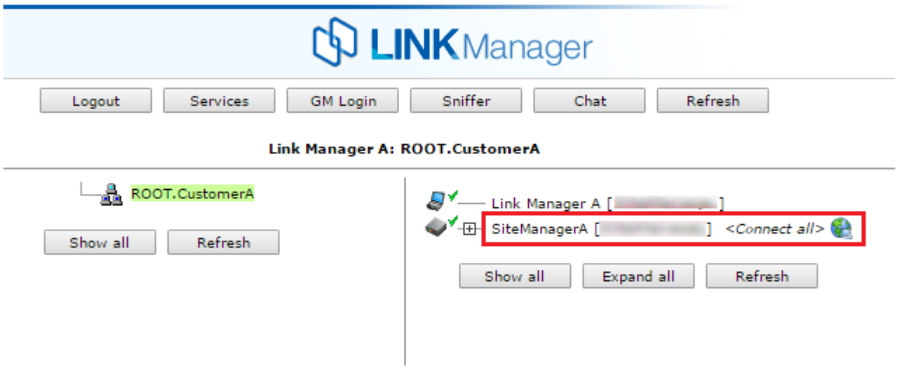
これでログイン完了です。

2.4.2.表示器への接続

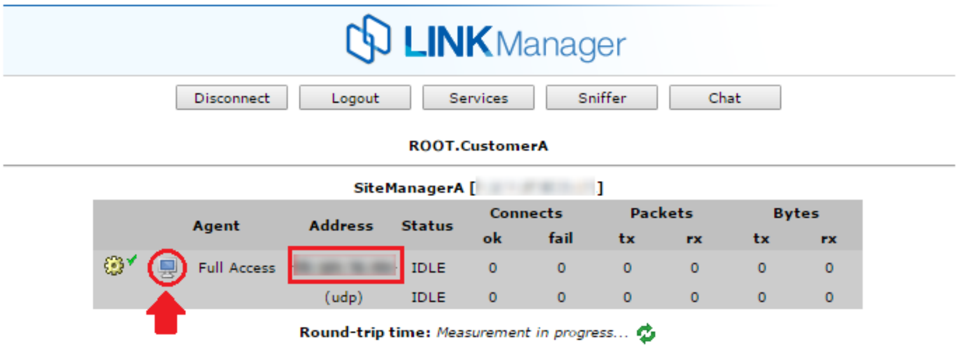
MEMO

- 複数の LinkManager から 1 台の SiteManager に接続した場合、ご使用のアプリケーションによっては、一部の LinkManager が SiteManager と通信できなくなる場合があります。この現象は、複数の LinkManager が同時に SiteManager に接続しないように設定することで回避できます。詳細は下記 URL を参照してください。
  http://www.pro-face.com/trans/ja/manual/1050.html

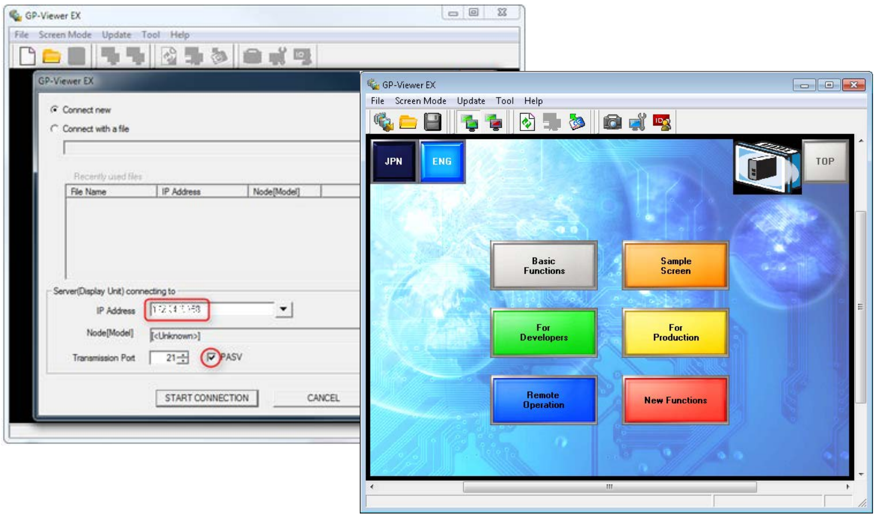
1. **SiteManager <Connect all>** をクリックすると、通信が始まります。



2. 表示器の IP アドレスと接続している状態です。

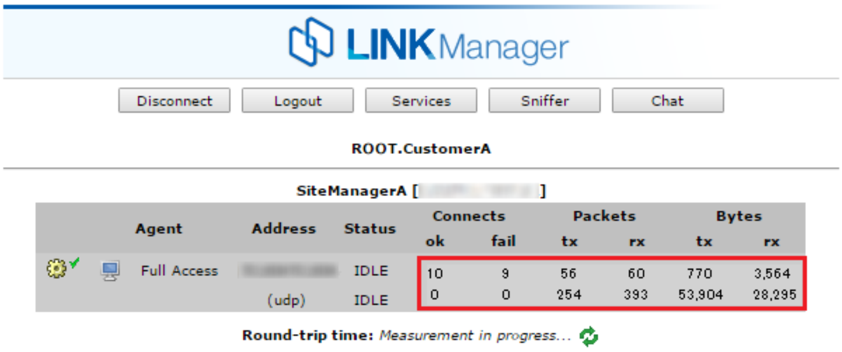


3. 表示器で起動しているアプリケーションに接続できます。ここでは、弊社の遠隔監視ソフトウェア (GP-Viewer EX) でつながった場合を例としています。



MEMO

- TCP/UDP で通信したデータ量が LinkManager のデータカウンターで確認できます。
(上段に TCP、下段に UDP のデータ量が表示されます。)



1: Connects
ok : Agent への接続が成功した LinkManager の数を表示します fail : Agent への接続が失敗した LinkManager の数を表示します。
2: Packets
tx : Agent に送信したデータ(IP パケット)量を表示します。 rx : Agent から受信したパデータ(IP パケット)量を表示します。
3: Bytes
tx : Agent に送信した TCP と UDP のデータ量(バイト)の合計を表示します。 rx : Agent から受信した TCP と UDP のデータ量(バイト)の合計を表示します。

2.5. LinkManager Mobile　の環境構築

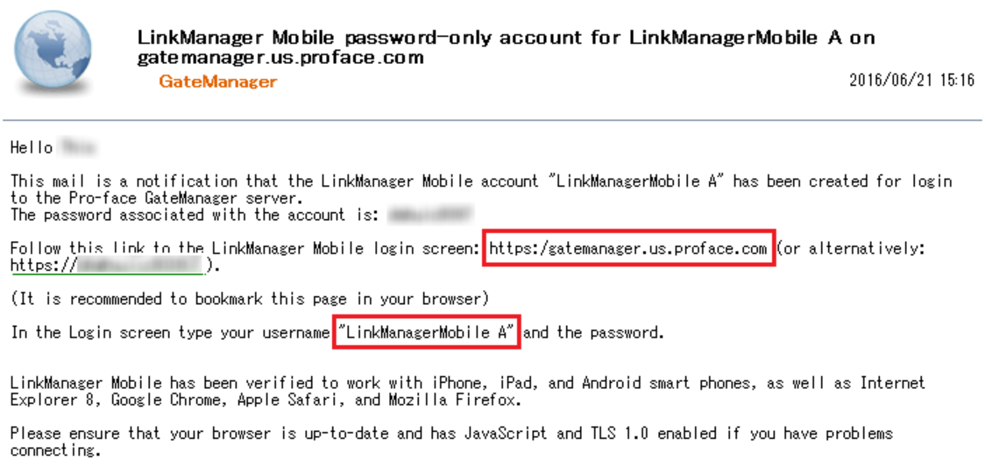
LinkManager Mobile はパソコン、スマートフォンやタブレットなどの Web ブラウザーを閲覧できるデバイス向けの簡易化された LinkManager です。

LinkManager Mobile を使って以下のデバイス上のサービスに接続することができます。

- Web GUI (http/https)
- ポート 3389 の RDP (MS リモートデスクトップ)
- ポート 5900 の VNC サーバー
- ポート 5900 経由でマッピングされた APP

2.5.1.LinkManager Mobile へのログインと接続

1. 受信した電子メールにある LinkManager Mobile の Login 画面へのリンクをクリックします。HTTPS と Java スクリプト対応の Web ブラウザーであればリンクを有効にできます。


LinkManager Mobile password-only account for LinkManagerMobile A on gatemanager.us.proface.com
GateManager
2016/06/21 15:16

Hello

This mail is a notification that the LinkManager Mobile account "LinkManagerMobile A" has been created for login to the Pro-face GateManager server.
The password associated with the account is:

Follow this link to the LinkManager Mobile login screen: https:/gatemanager.us.proface.com (or alternatively: https://).

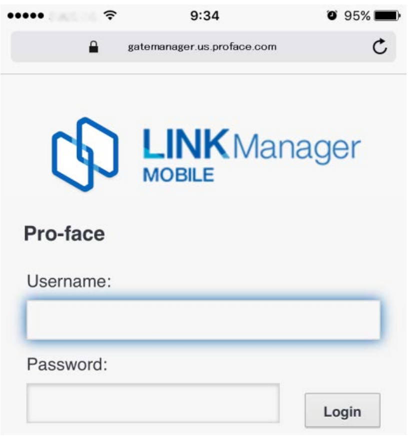
(It is recommended to bookmark this page in your browser)

In the Login screen type your username "LinkManagerMobile A" and the password.

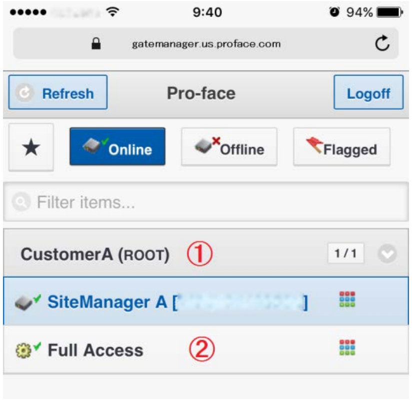
LinkManager Mobile has been verified to work with iPhone, iPad, and Android smart phones, as well as Internet Explorer 8, Google Chrome, Apple Safari, and Mozilla Firefox.

Please ensure that your browser is up-to-date and has JavaScript and TLS 1.0 enabled if you have problems connecting.

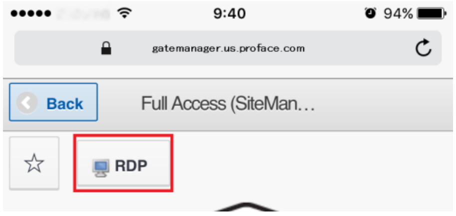
2. 電子メールにあるユーザー名でログインします。パスワードは電子メールに記載されています。



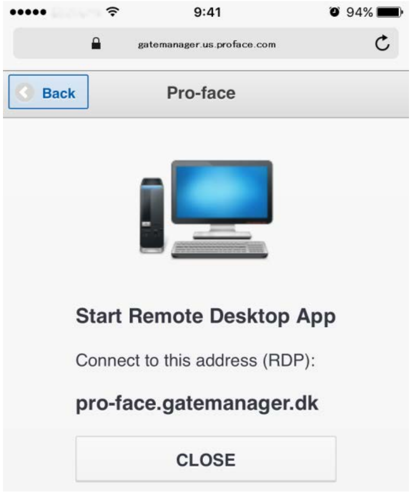
3. **ROOT** バーをクリックするとデバイスのリストが展開されます。**Full Access**.を選択します。



4. RDP ボタンをクリックします。



5. RDP プロトコルを使った表示器への接続完了です。



3. SiteManager Embedded Basic - Agent の設定

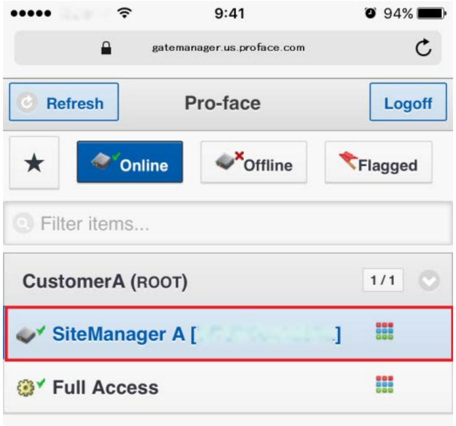
この章では、SiteManager Embedded Basic を拡張して Windows 対応のパソコン上のサービスにアクセスを許可する方法を説明します。

SiteManager Embedded の Full Access Agent (初期値) に加え、パソコン上の特定のサービスにアクセスを許可する Agent を作成できます。パソコンへのリモートアクセスの制限をかけたり、特定のサービスにアクセスをするための LinkManager または、LinkManager Mobile 上の接続ボタンを利用できるようになります。

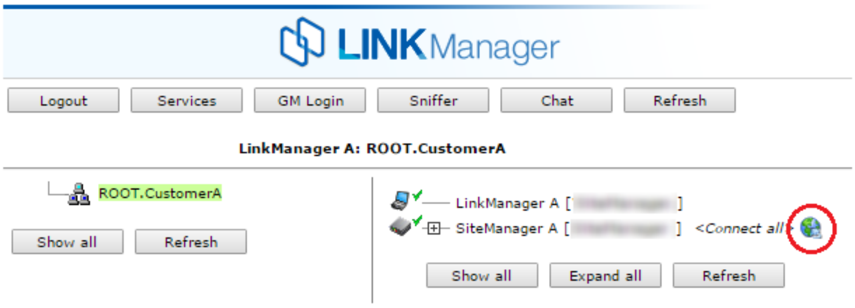
3.1. SiteManager での Agent の設定

1. LinkManager Mobile、LinkManager、または GateManager Portal から SiteManager Embedded の Web GUI に接続します。

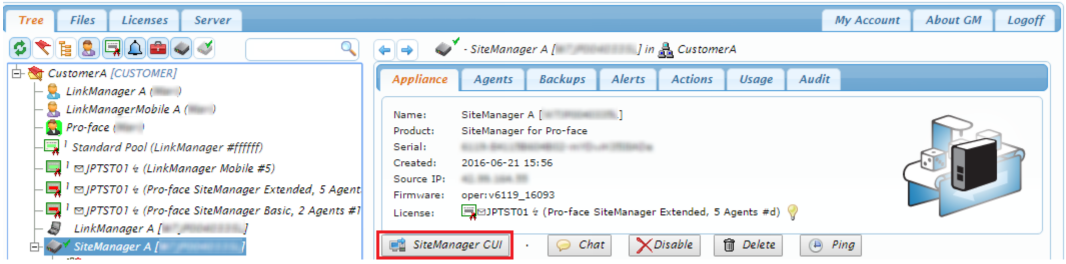
   (1) LinkManager Mobile で SiteManager を選択し **WWW** をクリックします。



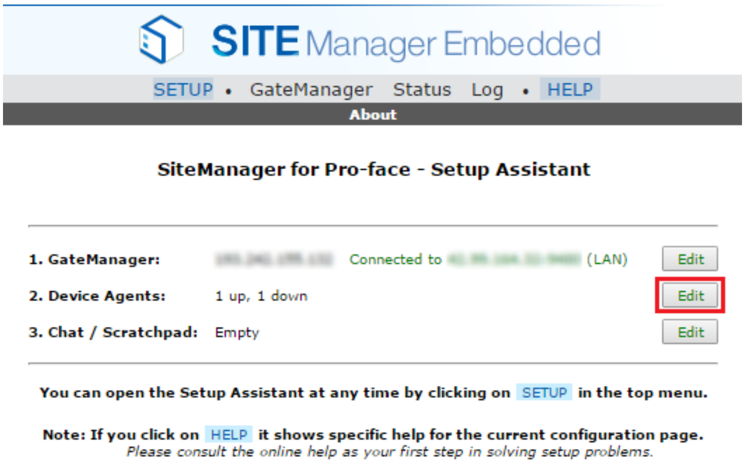
   (2) または、LinkManager で、SiteManager Embedded の横にある globe アイコンをクリックします。



(3) または、GateManager Portal で、**SiteManager GUI** ボタンをクリックします。



2. 接続すると Setup Asistant の画面が開きます。**Device Agents** から **Edit** ボタンをクリックします。



MEMO

- プロキシー接続として GateManager 経由で任意のポート番号を使い接続します。

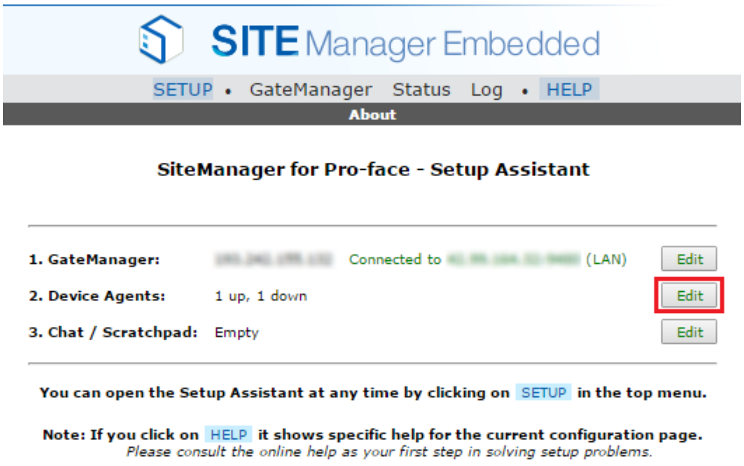
3.2. Agent 用の接続ボタンを有効にする

SiteManager の Agent では、デバイスと接続するために LinkManager や LinkManager Mobile から WWW、VNC、および RDP へアクセスするための接続ボタンが使用可能です。

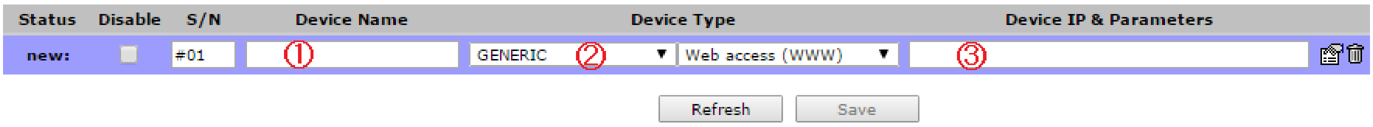
接続ボタンの初期設定ではソケット通信 (接続準備) が有効ではないため、Agent には使用できない場合があります。

3.2.1. Agent と接続ボタンの作成

1. SiteManager GUI に接続し、**Device Agents** にある **Edit** をクリックします。

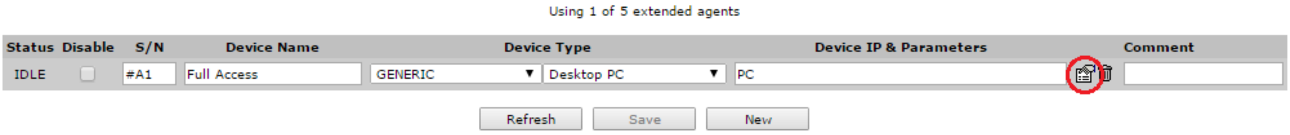


New をクリックし、詳細を入力します。

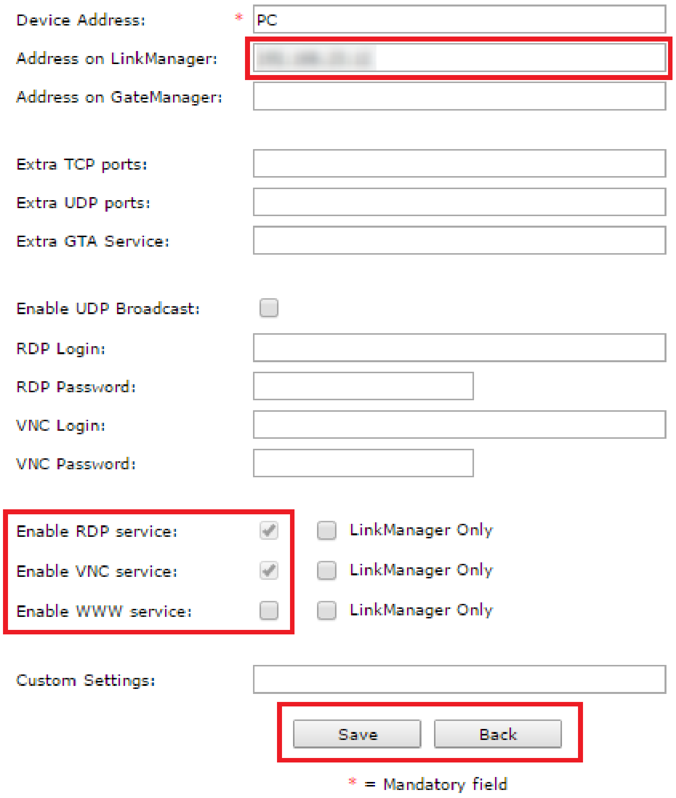


1: Device Name
LinkManager や LinkManager Mobile にログインした際に Agent とわかる名前を入力します。
2: Device Type
デバイスのタイプを選択します。初期設定 (GENERIC) は、すべてのポートを開放している状態です。お使いのアプリケーションに応じたポートに変更してください。 (株)デジタル製のアプリケーションをご使用の場合は、**Pro-face** を選択します。
3: Device IP & Parameters
デバイスの IP アドレスを指定します。SiteManager Embedded がインストールされたパソコンまたは表示器からアクセス可能な IP アドレスを指定してください。

2. Full Access Agent の **Parameter Details** アイコンをクリックします。



3. 有効にしたい接続ボタンの **Enable *** service** を選択し、**Save** そして **Back** をクリックします。

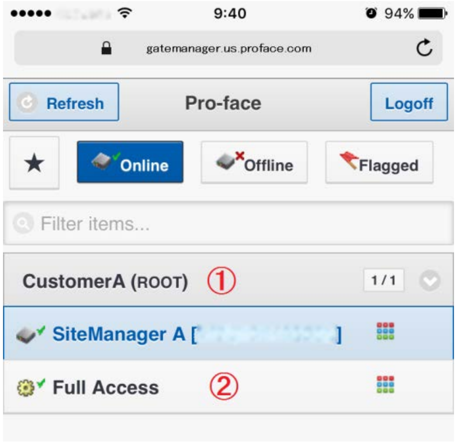


MEMO

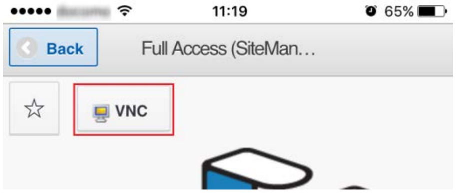
- GP-Pro EX の Web Server 機能を使う場合は、**Open WWW using default.htm** も有効にしてください。(**Device Type** で **Pro-face** を選択している場合に表示されます。)
- **Device Address** に接続したいデバイスの IP アドレスを直接入力することもできます。

3.2.2.LinkManager Mobile で VNC サーバーに接続する

1. LinkManager Mobile で、**Full Access Agent** に接続します。



2. **VNC** ボタンが表示されます。



MEMO

- **VNC** ボタンが表示されるのは、Agent が VNC サーバーが起動したことを認識したときのみです。

3. VNC ボタン をタッチすると、LinkManager Mobile とデバイス間の接続が開始します。

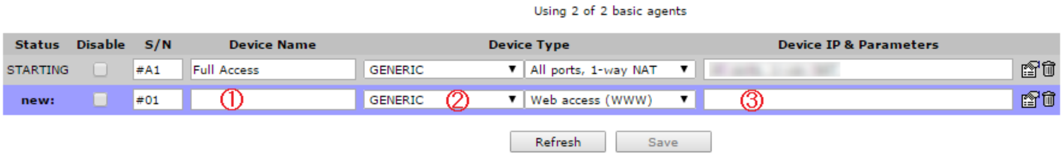
4. 60 秒以内に VNC クライアントに接続してください。接続しない場合は接続が切断されるので、手順を繰り返す必要があります。

3.3. LinkManager Mobile のカスタム接続ボタンと Agent を使用する

3.3.1.設定例: 新規 Agent の作成

1. **New** を選択します。

2. 必要項目を入力します。



1: Device Name
LinkManager や LinkManager Mobile にログインした際に Agent とわかる名前を入力します。
2: Device Type
Pro-face の Agent をスクロールバーから選択します。SiteManager Embedded の場合は、通信方式は Ethernet のみです。 MEMO • 他のオプションには **Generic** と **Web access** がありますが、パソコンから Web サーバーへのアクセスに制限をかける場合があります。

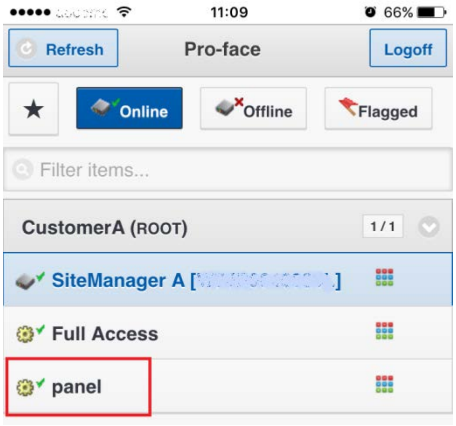
3: Device IP & Parameters
デバイスの IP アドレスを指定します。SiteManager Embedded がインストールされたパソコンまたは表示器からアクセス可能な IP アドレスを指定してください。

3. **Save** を選択し Agent の Status が「idle」になるのを確認します。

4. SiteManager Web GUI ウィンドウを閉じます。

3.3.2.LinkManager Mobile で Agent に接続する

1. LinkManager Mobile に新規の Agent が表示されています。



2. Agent を選択すると、Pro-face Agent 特定のボタンが表示されます。ボタンをクリックすると GateManager にあるポート 5900 に接続します。このポートは Pro-face の表示器にある WinGP ポート (10000) にマップされています。

MEMO

- 60 秒以内にアプリケーションに接続してください。時間内に接続がない場合は接続が切断され、上記の手順を繰り返す必要があります。

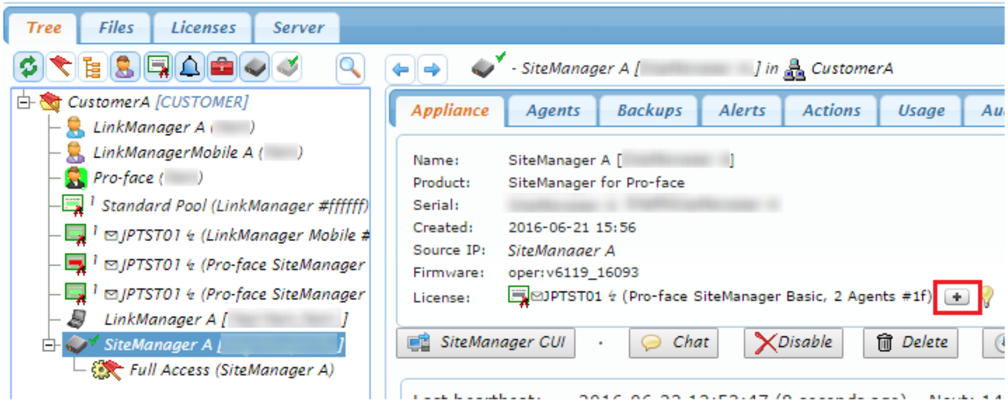
4. SiteManager Embedded Extended – 外部デバイスにアクセスする

4.1. SiteManager Embedded Basic から SiteManager Embedded Extended にアップグレードする

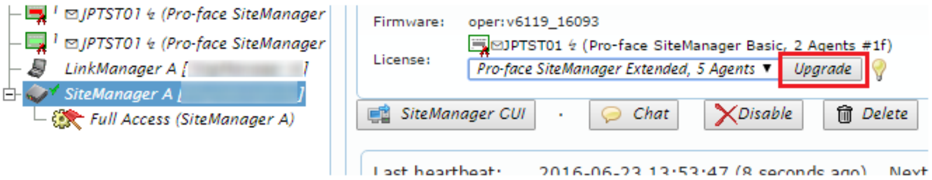
MEMO

- この章では、SiteManager Embedded Basic ライセンスを保有し、SiteManager Embedded Extended ライセンスを新たに受け取ったところを想定しています。SiteManager Embedded Basic のライセンスをすでに SiteManaer Embedded Extended にアップグレードしている場合は、外部デバイス用の Agent を定義するへ進んでください。

1. GateManager Portal で SiteManager を選択し、ライセンスをアップグレードするために「+」サインをクリックします。

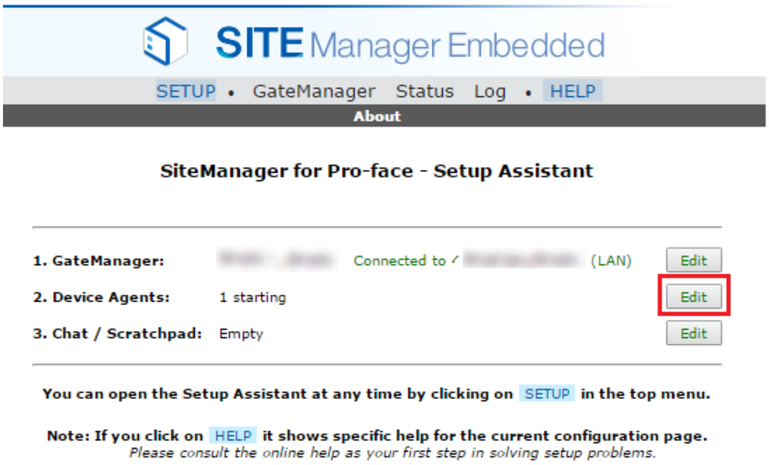


2. 有効なライセンスが表示されます。**Upgrade** をクリックしてライセンスをアップグレードします。

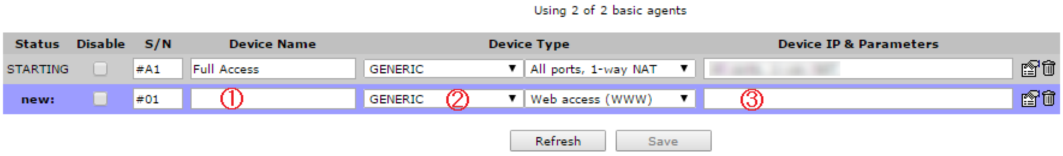


4.2. 外部デバイス用の Agent を定義する

1. SiteManager GUI に接続し、**Device Agents** にある **Edit** をクリックします。



New を選択し、詳細を入力します。

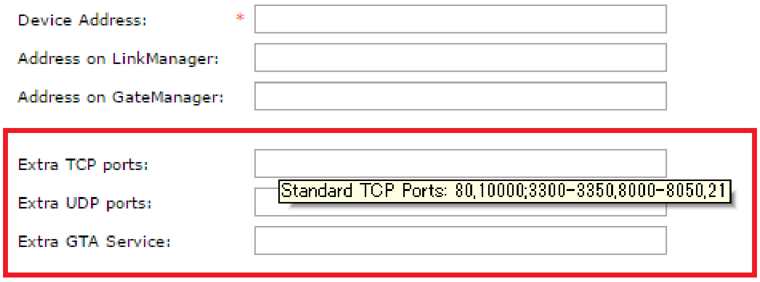


1: Device Name
LinkManager に表示される名前を入力します。
2: Device Type
デバイスのタイプを選択します。 MEMO • 初期設定（GENERIC）は、すべてのポートを開放している状態です。お使いのアプリケーションに応じたポートに変更してください。
3: Device IP & Parameters
デバイスの IP アドレスを入力します。SiteManager Embedded がインストールされたパソコンまたは表示器からアクセス可能な IP アドレスを指定してください。

MEMO

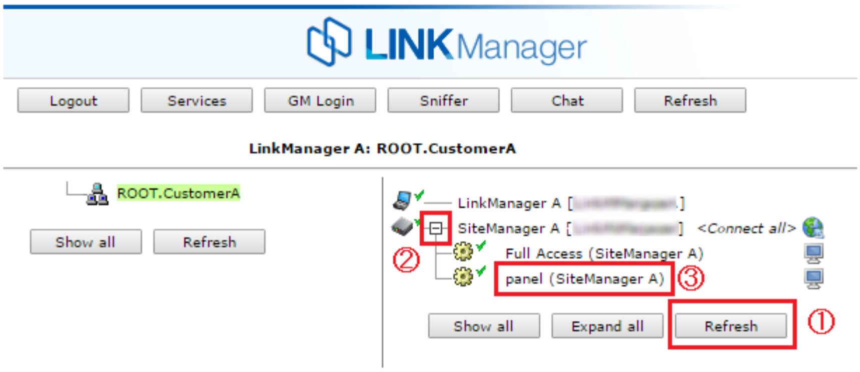
- 各 Agent にアクセスするために必要な標準のポートは登録済みですが、追加でお使いになりたいポートがある場合は設定が可能です。

  Parameters Details アイコン をクリックし、必要なポートの番号を入力してください。(あらかじめ用意している標準のポートは、入力ダイアログにカーソルを合わせると確認できます。)

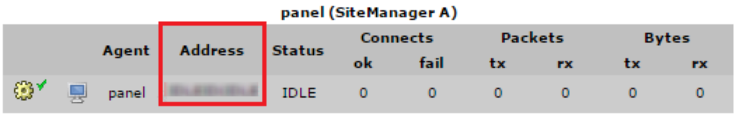


2. **Save** をクリックし **Status** が **IDLE** になるまで何度か **Refresh** をクリックします。IDLE は SiteManager Embedded がデバイスに接続できる状態であることを示します。

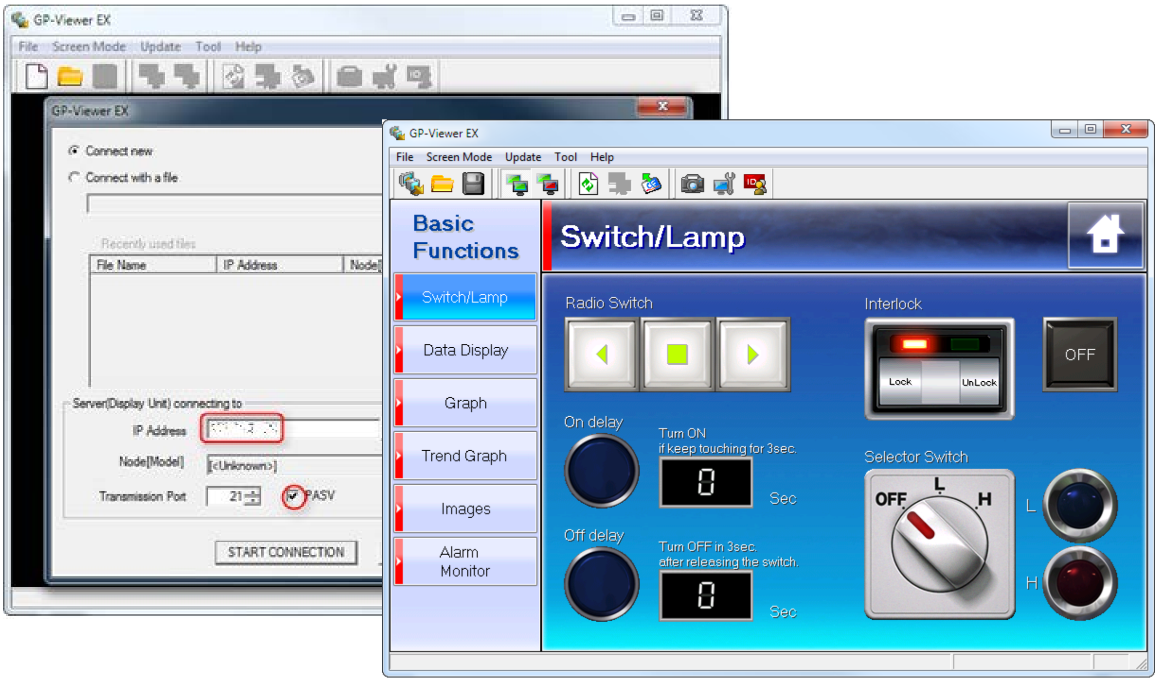
3. LinkManager にログインし **Refresh** をクリックして更新します。「**+**」をクリックすると SiteManager 上の Agent が表示されます。新規の Agent をクリックすると接続します。



4. 表示中の IP アドレスのデバイスと接続しています。



panel (SiteManager A)

	Agent	Address	Status	Connects		Packets		Bytes	
				ok	fail	tx	rx	tx	rx
	panel	[illegible]	IDLE	0	0	0	0	0	0

5.　遠隔監視ソフトウェアを起動しデバイスの IP アドレスを定義します。ここでは、弊社の 遠隔監視ソフトウェア(GP-Viewer EX) を利用した場合を例としています。